

東京2020オリンピック聖火リレー 県内ルートの見どころ

令和2年12月15日 東京2020オリンピック聖火リレー鹿児島県実行委員会

1日目（4月27日（火））

| | |
|------|---|
| 志布志市 | 南九州の物流拠点として整備が進む志布志港が一望できる観光船バースから、おもてなしの玄関口である志布志駅を經由し、志布志運動公園陸上競技場をゴールとするルート |
| 鹿屋市 | 長きにわたり、鹿屋市の商業・市民生活を支えてきた市街地を通過し、歴史的にも価値を残す鹿屋城（亀鶴城）跡地である城山公園を終着地点とするルート |
| 奄美市 | 奄美の文化の拠点施設である奄美文化センターをスタート地点とし、中心市街地を通り、現在整備を進めている奄美市役所前「市民広場」をゴールとするルート |
| 南大隅町 | 国立公園（特別保護地区）である本土最南端「佐多岬」の景観を国内外に発信し、大海原の眺望が開ける佐多岬展望所に向けて走るルート |
| 霧島市 | 観光地点であり、霧島市を代表する国の史跡の一つである隼人塚と市役所を結び、霧島連山から桜島までを眺望できる県央の霧島市を世界に向けてPRできるルート |
| 始良市 | 市の中心である市役所を起点として、始良市の中心にある国道10号を通り、鹿児島島のシンボル桜島を眺め、さらに国史跡でもある主要街道大口筋の一部として、江戸時代に整備された石畳の峠道「白銀坂」のある山間部を眼前に見ながら走るルート |
| 鹿児島市 | 駅ビル北側を出発した聖火がナポリ通りを經由し、鹿児島中央駅前の薩摩藩英国留学生の銅像「若き薩摩の群像」前や活気あふれる繁華街「天文館」、市役所前を通り、桜島や錦江湾を一望できるウォーターフロントパークを結ぶルート |

2日目（4月28日（水））

| | |
|-------|--|
| 出水市 | 観光の目玉のツルに関連した建物やオブジェ等視認できる場所で、観光をPRできるルート |
| 西之表市 | 中心市街地である商店街を通り、種子島鉄砲まつりが行なわれ、港町の風情が漂う本市の町並みをPRすることができるルート |
| 薩摩川内市 | 市の中心市街地を通り、上川内駅並びに川内駅から近く、薩摩川内はんやまつりや川内大綱引なども行われ、市民に親しまれているルート |
| 日置市 | 市の中心である市役所付近を起点とし、市外から観戦に訪れる方々の玄関口となる伊集院駅に近く、妙円寺詣りなども行われ、市民に親しまれているルート |
| 伊佐市 | 日本一の滝幅（210m）を誇る曾木の滝、周囲の切り立つ岩肌や産業遺産の発電所遺構など、雄大かつ歴史を感じられるエリアである曾木の滝公園内を走るルート |
| 南九州市 | 世界恒久の平和を願い平和と命の大切さを語り継ぐ、知覧特攻平和会館前をスタート。桜並木を通り、全国から寄進された多くの石灯籠が整然と立ち並ぶ沿道を通り、市役所知覧庁舎前へと続くルート |
| 指宿市 | 菜の花マラソンで親しまれているハイビスカス通りを通り、両側にそびえ立つヤシの木や豊かな自然で指宿の南国気分を味わいながらセレブレーション会場である指宿市営陸上競技場に向かうルート |